

地域創生学(観光)

津山市への提言

高校生・城西で事業を始めたい人・観光地の人をつなぐ
⇒「環耕プロジェクト」

空き家を複合型施設化！

「ロポン」



提言の理由



定義：新しい生活様式に適応して、観光客を呼び込むより、まずは地域を活性化する
「環」は、地域の人と人との繋がり
「耕」は、地域の良さをより引き出す
継続性を表している

- ・短時間で去ってしまう通過型→滞在型観光地へ
- ・高校生が参加することで敷居を低く
- ・観光地の人への対応を思いやりをもってする
- ・連携した取組につながる

- ・空き家問題の解消と観光客の増加を同時に行える！
- ・飲食店の少なさや、道が複雑、外国人への案内などの問題を解決できる！
- ・観光地と周辺店舗との相互な集客・経済効果が見込める
- ・観光地周辺を発展させることで、観光客を受け入れやすくなる



津山市の将来に向けて



- ・出店希望者・観光地の人・高校生が話し合える集会を催す
- ・観光地の現状を共有する
- ・観光地と周辺店舗が連携した取組を行う
→ 観光地に訪れた人に周辺店舗で使えるクーポンを配布する、共同でイベントを行うなど
- ・観光地の人にアポイントメントを取る
- ・会場設営などの集会運営の手伝い
- ・出店が成立した際にボランティアとして協力する
- ・高校生が新しい取り組みを提案する
- ・「みんなのTERAKOYA」を開く
→ 高校生が小中学生の学習の補助・一緒に遊ぶ
- ・精進料理教室を開く
→ お寺の人の補助・参加
- ・一点物のかすりを使って、オブジェクトを作る（タクシーのシートにするなど）
- ・展示を開き、魅力を伝える
- ・作州がすりのサステナブルな使い方を伝える
→ 高校生がダイアグラムを作る

- ・飲食店 ・フリースペース ・観光案内所
- ・お土産屋 ・休憩所 ・伝統文化の展示



集合させて複合型施設に！

- ・予算の調達にはクラウドファンディングを活用し、お礼にはロポン内で使える優待券
- ・宣伝にはホームページ、ポスター、インスタグラム、高校生を巻き込む宣伝合戦
- 考えられる効果
 - ・交流の場が広がる
 - ・伝統文化などの知名度が上がる
 - ・観光案内所の設置によって観光客への対応がより良くなる
 - ・景観が良くなる
 - ・長期間滞在に繋がる

